







ILLUMI-STARTER

取扱説明書 (2008年6月現在 No.3)

この度はPIVOT ISKをお買い求めいただきましてありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をよくお読み下さい。尚、取り付けミス、誤った使用によるクルマの故障、盗難、事故等については当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。

セット内容

					
スイッチ	リング	リレーBOX	エレクトロタップ ×3	カットギボシ ×1	両面テープ ×1

・メスギボシ・カバー×1 ・明るさ調節用抵抗×2 ・取扱説明書

特長

■スタータースイッチがレーズカーと同じプッシュ式に。

スイッチ φ22mmの穴開けて簡単取り付け。

簡単配線 ターボタイマー等のハーネスにカプラーオンの簡単取り付け。(直接配線も可)

※内蔵リレーは高容量30A。

イルミ 照明は高輝度LED発光。

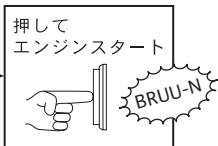
IGNに配線するとキーONで、イルミに配線するとスモールONで点灯させることができます。(どちらか選んで配線します。)

使用方法

キースイッチON



キースイッチは必ずONにします。



※キースイッチによるスタートも併用できます。

(取り付けしたスイッチのみでスタートする配線方法もあります。詳しくは「配線接続方法」をご覧ください。)

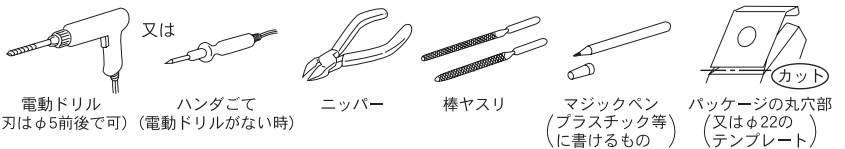
スイッチの取付方法

●スイッチを取り付ける穴は、φ22を一度に開けられる道具がなくても、下記手順に従って開けることができます。

注意

各道具の扱いには充分注意し、ケガや火傷のないように作業して下さい。

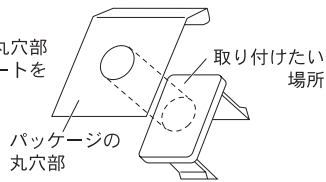
(用意するもの)



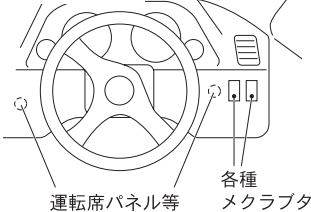
手順1 取り付け場所を決める。

取り付けたい場所にφ22の穴が開けられるかを確認する。

<確認方法>
パッケージの丸穴部
又はテンプレートを
あててみる。

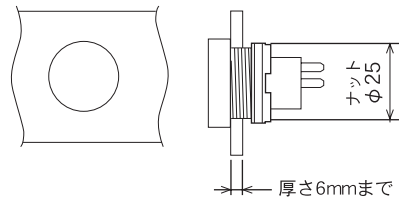


<取付場所例>



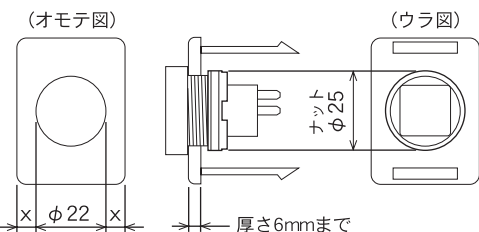
注意 取り付けたい場所をそれぞれ加工する前に確認する。

運転席パネル等



- ウラ面がナット(外径φ25)で確実に止められる形状であること。
- パネルが外せない場合、加工する場所のウラ側に配線等がないこと。

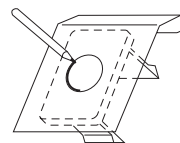
各種メクラプラ



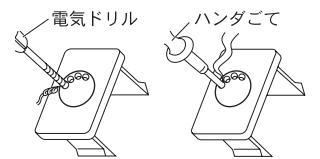
- ウラ面がナット(外径φ25)で確実に止められる形状であること。
- 加工すると変形や破損してしまうような形状や寸法でないこと。
例) オモテ図のX部が細くなる等。

手順2 穴開け加工する。

① 穴を開ける場所へパッケージの丸穴部 (又はテンプレート) をあて、マジックペン等でφ22の丸を書く。

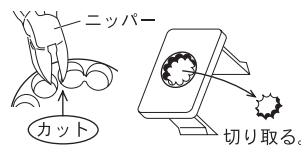


② 書いた丸の内側に沿って電気ドリル (又はハンダごて) で穴を開けていく。

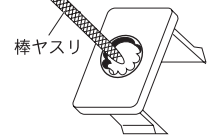


穴の間隔はできるだけ狭く開ける。

③ 穴と穴のつながっている部分をニッパーでカットし、中心部を切り取る。

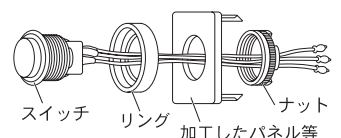


④ 残った部分を棒ヤスリで削って整え、スイッチが差し込めるようにする。



手順3 スイッチを取り付ける。

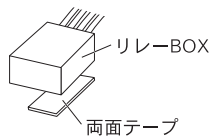
- ① スイッチをリングに通す。
- ② 加工した穴へスイッチを差し入れる。
- ③ ウラからナットで締め込んで固定する。



リレーBOXの取付場所

■リレーBOXは付属の両面テープで
じゃまにならない場所へ固定する。

④ 両面テープで固定する場所は
汚れや油分等をしっかり取る。



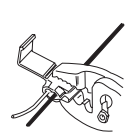
エレクトロタップの使い方

※ハンダ付けができる場合は行い、確実に絶縁処理を行って下さい。

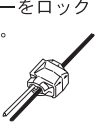
① コードをエレクトロタップの溝にセットする。



② プライヤーでコンタクトを接触不良とならぬ様確実に押し込む。



③ カバーをロックする。



メスギボシの使い方

1	かしめるコードの先端を8mm位むいて芯線を折りたたむように太くする。	4	内側の圧着部と芯線を確実にかしめる。
2	カバーを通しておく。	5	外側の圧着部を被ふくの上からかしめる。
3	圧着部にコードをセットする。	⑥	オス・メスギボシは、接続後オスカバーがメスカバーの内側へ入り込むようにしっかりネジ込んで下さい。

カットギボシの使い方

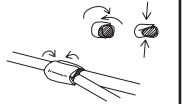
※ハンダ付けができる場合は行って下さい。

1	接続するコードの被ふくを10mm位むく	3	被ふくをむいた箇所をしっかりとめ
2	接続したいコードの被ふく先端を10mm位むく	4	確実にかしめる

※カットギボシのかしめには圧着工具をご使用下さい。工具がない場合はラジオペンチ等で折りたたむようにしっかりとめて下さい。(右図)

※不確実なかしめは断線の原因となりますので、かした状態を今一度お確かめの上、

確実にビニールテープ等で絶縁をして下さい。



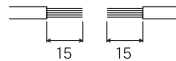
故障と思われる前に

症状	原因	確認	
キーONでスイッチを押してもスターターが回らない。 ↓ リレーBOX内でスイッチを押すたびに「カチッ」という音がするか確認する。	音がする。	⊕B配線の不良	直接配線の場合 ●赤コードの接触状態を確認する。 ●⊕Bに接続しているか確認する。 3Pカプラー接続の場合 ●接触状態を確認する。 ●車種に合った専用ハーネスを使っているか確認する。
		ST配線の不良	●白コードの接触状態を確認する。 ●STに接続しているか確認する。 (スイッチのみの加工をした場合) ●白コードが車輻ハーネス側へ接続されているか確認する。 ●STが2本の場合の加工を確実にしているか確認する。
	音がしない。	IGN配線の不良	直接配線の場合 ●黄コードの接触状態を確認する。 ●IGNに接続しているか確認する。 3Pカプラー接続の場合 ●接触状態を確認する。 ●車種に合った専用ハーネスを使っているか確認する。
		リレーBOXからスイッチへの配線不良	●リレーBOXから出ている黒コード(メスギボシ付)とスイッチからのオスギボシ付黒コードが確実に接続されているか確認する。
	GNDの接続不良	●クワ型端子付黒コードの接触状態を確認する。 ●アースの取れる場所へ接続しているか確認する。	
キーACCでスイッチを押すとスターターが回る。(エンジンは掛からない。)	黄コードがACCに接続されている。	直接配線の場合 ●黄コードの接続場所を確認する。 3Pカプラー接続の場合 車種に合った専用ハーネスを使っているか確認する。(3Pカプラーの黄コードがつながるコードにACCが来ている等)	
スイッチのイルミが点灯しない。	スイッチ橙コードの配線不良	●接触状態を確認する。 ●接続場所が合っているか確認する。(キーONの場合=イグニッション電源へ、スモールONの場合=イルミへ)	
	GNDの接続不良	●クワ型端子付黒コードの接触状態を確認する。 ●アースの取れる場所へ接続しているか確認する。	

夜間イルミが明るすぎる場合

※スイッチ橙(オレンジ)コードの途中へ付属の明るさ調節用抵抗を接続し、調節して下さい。

- ① スwitch橙コードの素子部より車輻接続側でカットする。
- ② 両端を15mmくらいむく。
- ③ 付属の抵抗を入れ、両端とも確実にからめる。
- ④ ビニールテープ等で確実に絶縁する。



※1本入れてもまだ明るい場合は、もう1本を直列で接続して下さい。

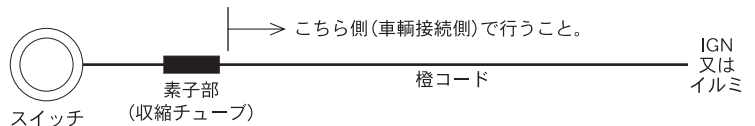


④ 接触不良になるとイルミが点灯しくくなりますので、確実に接続して下さい。

⚠ スwitch橙コードについての注意

Switch橙コードをカット・延長等加工する時は、必ず素子部(収縮チューブ部分)より車輻接続側で行い、素子部は切り取らないで下さい。

(素子部が無い状態で⊕12Vを接続すると、イルミ用LEDは破損します。)

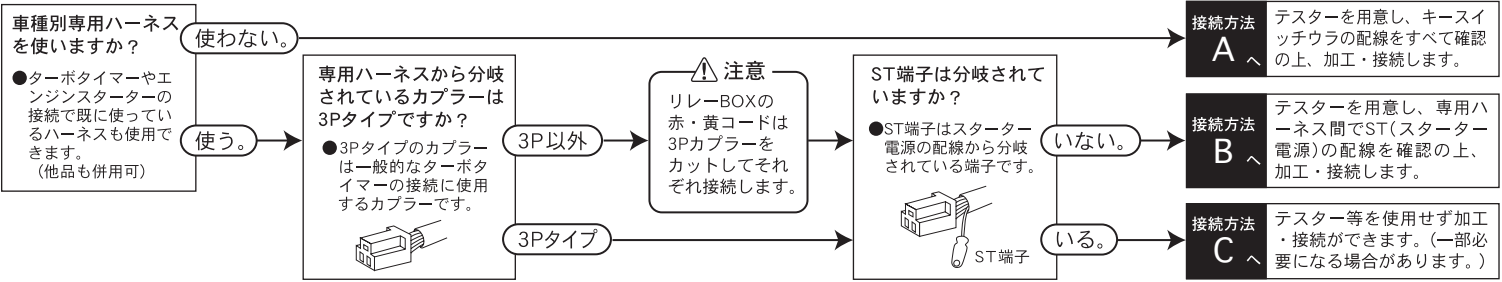


(用意するもの)



- 警告** 本品は、取付ミス(誤配線や接触不良、絶縁不良)をしますとクルマが始動しなくなるといった危険な故障につながる可能性がありますので、安全、確実な取付作業をお願い申し上げます。
- 注意**
 1. 配線作業中は必ずバッテリー⊖端子を外す。(検電時は戻す)
 2. 接続した場所の絶縁処理を確実にを行う。
 3. コードの引き回しは、ショートや断線の無いよう行う。

接続方法確認チャート ※どの方法で配線接続するかを確認します。

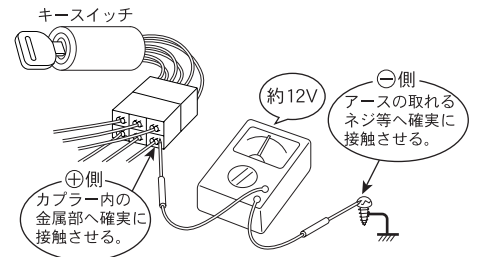


テスターを使用しての配線確認 ※キースイッチウラの各配線がキースイッチのどのポジションで約12V流れるかを確認します。



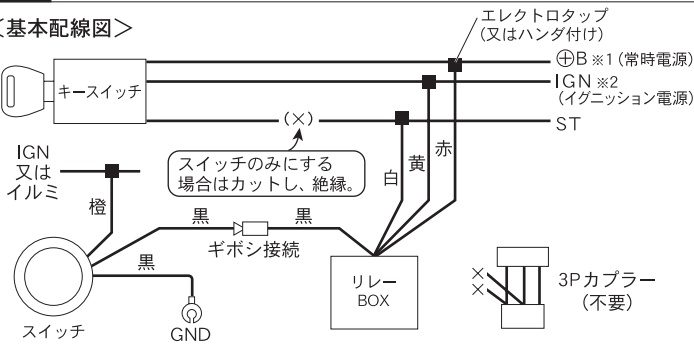
キースイッチポジション	電源の種類	確認時の注意	接続コード色
OFF	⊕B (常時電源)	車種により2本の場合あり (⊕B1, ⊕B2)	赤
ACC	ACC (アクセサリ電源)	(本品では使用しません。)	-
ON (IG)	IGN (イグニッション電源)	車種により、2本の場合あり (IG1, IG2)	黄
ST (START)	ST (スターター電源)	車種により、2本の場合あり (ST1, ST2)	白

注意 キースイッチウラにつながっている配線は、必ずすべて確認して下さい。
 ⊕Bが2本あり、太さが違う場合は太い方の配線に接続してください。
 特にSTが1本の場合と2本の場合では、加工・接続方法が異なります。(各接続方法参照)



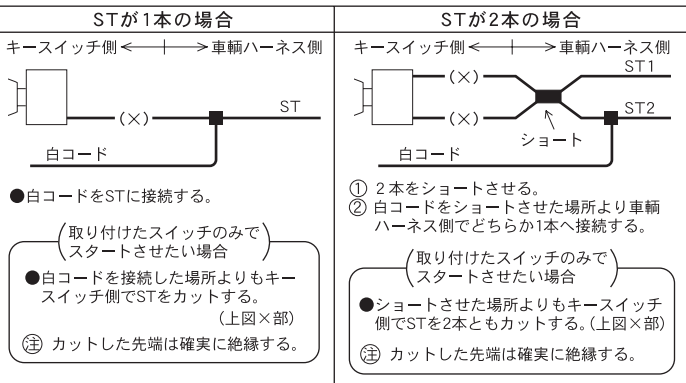
接続方法 A 専用ハーネスを使用せず、直接配線接続する方法

<基本配線図>



※1 ⊕Bが2本あり、太さが違う場合は太い方に接続。 ※2 IGNが2本あった場合はどちらでも可。

1 白コードの接続 ※ST線が1本の場合・2本の場合で接続方法が異なります。



2 その他のコードの接続

<赤コード(⊕B)、黄コード(IGN)>

- 専用ハーネスの3Pカプラーへ接続する。
- ③ 3Pカプラー以外の場合 それぞれの接続場所を確認し、3Pカプラーを切り離して各コードを確実に接続する。
- ④ ターボタイマー等を接続する場合 専用ハーネスとターボタイマー等の間に3Pカプラーを接続する。

<黒コード(メスキボシ付)>

- スイッチの黒コード(オスキボシ付)と接続する。

<スイッチのクワ型端子付黒コード>

- アースの取れるネジ(ボディアース)へ共締めする。

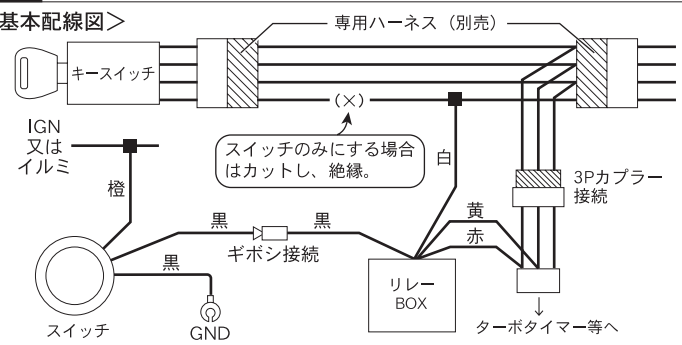
<スイッチ橙コード>

- キーONでイルミを点灯させたい場合 = IGNへ
 - スモールONでイルミを点灯させたい場合 = イルミへ
- どちらか選んで カットギボシにて接続する。

⚠ 夜間イルミが明るすぎる場合は橙コードの途中に付属の抵抗を接続して調節する。(「故障と思われる前に」の下項目参照)

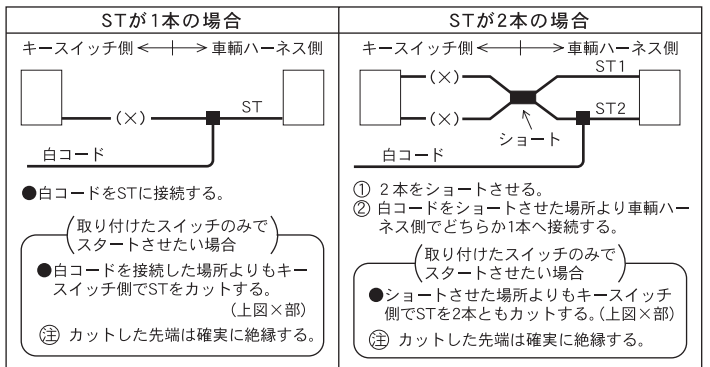
接続方法 B ST端子の分岐されていない専用ハーネスを使用する方法

<基本配線図>



1 白コードの接続 ※ST線が1本の場合・2本の場合で接続方法が異なります。

③ テスターで3Pカプラーにつながっていない配線をすべて確認する。



2 その他のコードの接続

<赤コード(⊕B)、黄コード(IGN)>

- 専用ハーネスの3Pカプラーへ接続する。
- ③ 3Pカプラー以外の場合 それぞれの接続場所を確認し、3Pカプラーを切り離して各コードを確実に接続する。
- ④ ターボタイマー等を接続する場合 専用ハーネスとターボタイマー等の間に3Pカプラーを接続する。

<黒コード(メスキボシ付)>

- スイッチの黒コード(オスキボシ付)と接続する。

<スイッチのクワ型端子付黒コード>

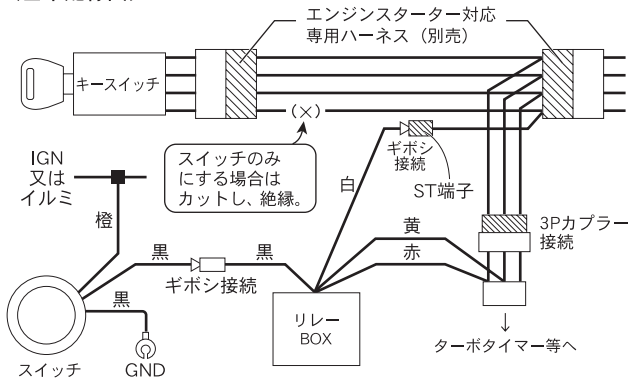
- アースの取れるネジ(ボディアース)へ共締めする。

<スイッチ橙コード>

- キーONでイルミを点灯させたい場合 = IGNへ
 - スモールONでイルミを点灯させたい場合 = イルミへ
- どちらか選んで カットギボシにて接続する。

⚠ 夜間イルミが明るすぎる場合は橙コードの途中に付属の抵抗を接続して調節する。(「故障と思われる前に」の下項目参照)

<基本配線図>

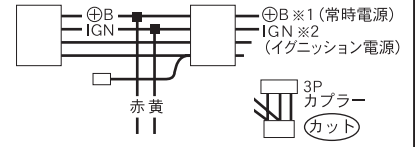


白コード以外のコードの接続

<赤コード(⊕B)、黄コード(IGN)>

- 専用ハーネスの3Pカプラーへ接続する。
- ③ 3Pカプラー以外の場合【図A】
それぞれの接続場所を確認し、3Pカプラーを切り離して各コードを確実に接続する。
- ③ ターボタイマー等を接続する場合【図B】
専用ハーネスとターボタイマー等の間に3Pカプラーを接続する。

【図A】



※1 ⊕Bが2本あり、太さが違う場合は太い方に接続。
※2 IGNが2本あった場合はどちらでも可。

<黒コード(メスギボシ付)>

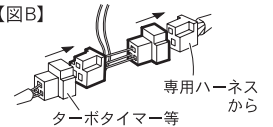
- スイッチの黒コード(オスギボシ付)と接続する。
- <スイッチのクワ型端子付黒コード>
- アースの取れるネジ(ボディアース)へ共締めする。

<スイッチ橙コード>

- キーONでイルミを点灯させたい場合 = IGNへ
 - スモールONでイルミを点灯させたい場合 = イルミへ
- ⇒どちらか選んでカットギボシにて接続する。

⚠ 夜間イルミが明るすぎる場合は橙コードの途中に付属の抵抗を接続して調節する。
(「故障と思われる前に」の下の項目参照)

【図B】

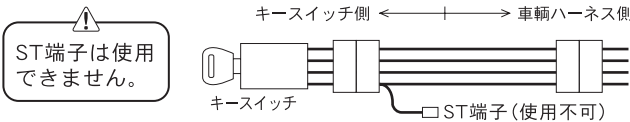


白コードの接続 ※白コードは専用ハーネスから出ているST端子へギボシ接続します。

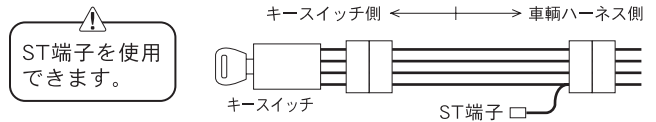
(取り付けしたスイッチのみでスタートさせたい場合は、専用ハーネスのタイプによりそれぞれ加工・接続方法が異なりますので、以下のようにします。)

1 ST線の確認 ※専用ハーネスをクルマに取り付けた時に、ST端子がキースイッチ側・車輻ハーネス側のどちらから分岐されているか確認する。

●ST端子がキースイッチ側から分岐されている

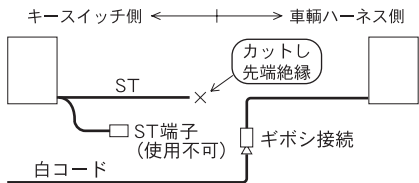


●ST端子が車輻ハーネス側から分岐されている



2 ST線の加工・接続

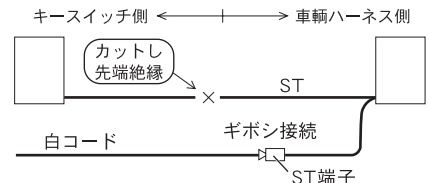
<基本加工>



- ① ST端子とつながっている専用ハーネス間の配線(=ST線)をカットする。
- ② 車輻ハーネス側へメスギボシを取り付け、白コードを接続する。
- ③ キースイッチ側は確実に絶縁する。

2 ST線の加工・接続

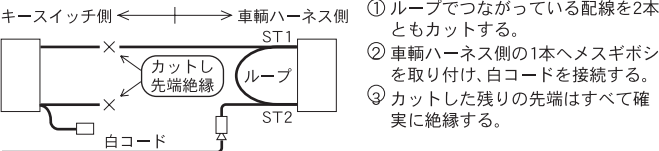
<基本加工>



- ① ST端子とつながっている専用ハーネス間の配線(=ST線)をカットする。
- ② 白コードをST端子へ接続する。
- ③ カットした両端はそれぞれ確実に絶縁する。

●ST端子とつながっている専用ハーネス間の配線がループなどで他の配線とつながっている場合(=ST線が2本ある)

<車輻ハーネス側でループされている>



- ① ループでつながっている配線を2本ともカットする。
- ② 車輻ハーネス側の1本へメスギボシを取り付け、白コードを接続する。
- ③ カットした残りの先端はすべて確実に絶縁する。

<キースイッチ側でループされている>



- ① ループでつながっている配線を2本ともカットする。
- ② 車輻ハーネス側の1本へメスギボシを取り付け、白コードを接続する。
- ③ 接続したコードへもう1本の車輻ハーネス側のコードを接続する。
- ④ キースイッチ側はそれぞれ確実に絶縁する。

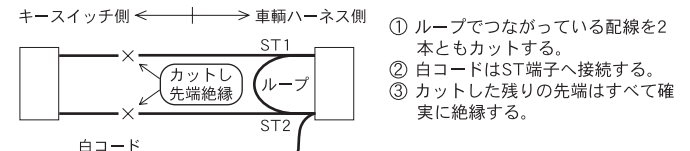
<2本がハーネス間でショートされている>



- ① ショートされている場所よりキースイッチ側で2本ともカットする。
- ② 白コードは車輻ハーネス側へ接続する。
- ③ カットした残りの先端はすべて確実に絶縁する。

●ST端子とつながっている専用ハーネス間の配線がループなどで他の配線とつながっている場合(=ST線が2本ある)

<車輻ハーネス側でループされている>



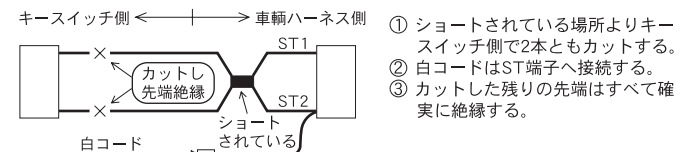
- ① ループでつながっている配線を2本ともカットする。
- ② 白コードはST端子へ接続する。
- ③ カットした残りの先端はすべて確実に絶縁する。

<キースイッチ側でループされている>



- ① ループでつながっている配線を2本ともカットする。
- ② 白コードはST端子へ接続する。
- ③ カットした車輻ハーネス側2本をショートさせる。
- ④ キースイッチ側はそれぞれ確実に絶縁する。

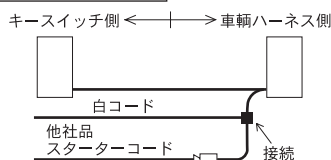
<2本がハーネス間でショートされている>



- ① ショートされている場所よりキースイッチ側で2本ともカットする。
- ② 白コードはST端子へ接続する。
- ③ カットした残りの先端はすべて確実に絶縁する。

●他社品でST端子が使用されている場合

⇒白コードをST端子コードもしくは接続されている他社品スターターコードへエレクトロタップ等を使用して接続する。



⚠ スイッチのみでスタートするようにした場合

白コード・他社品スターターコードともに必ず 車輻ハーネス側へ接続して下さい。
カットしたST線のキースイッチ側に接続されているとスタートできません。

キースイッチ側 ← → 車輻ハーネス側

